

科目名		電気設備実習 II			
担当教員		富樫 久夫		実務授業の有無	○
対象学科	建築設備システム科	対象学年	2年	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	電気工事の基本となる単位作業から始め、電気工事士技能試験の課題を活用して電気工事の基本動作・工具の使い方を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	第二種電気工事士技能試験に余裕で合格できるレベル				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	第二種電気工事士技能試験丸わかり (電気書院) および、オリジナル資料 (PDF)				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	電気工事の工具と使い方 ・基本工具の名称とその使い方 ・一般的な材料			テキストと実物にて 実際にモノを手に取り、単位作業を行う	
2	単線図と複線図 ・単線図の意味 ・単線図から複線図に展開する方法			テキストとノートにて 実際に複線図を描いてみる (P18~33)	
3	技能試験の基本作業 (単位作業) ・ケーブルの加工 ・器具の接続			テキストと動画にて テキストと動画の視聴のあと、実際に作業してみる	
4	技能試験の基本作業 (単位作業) ・端子台や遮断器等 ・ボックス作業と結線			テキストと動画にて テキストと動画の視聴のあと、実際に作業してみる	
5	候補問題の分析と作成 1			テキストとPDF資料にて 13の課題すべてについて、施工条件を読み合わせ複線図を作図後に作成する	
6	候補問題の分析と作成 2			各課題について留意点を出し合い、ブラッシュアップする	
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
取組姿勢	課題			安全第一 身だしなみと整理整頓を心掛ける	
20 %	80 %	%	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		電気・電子技術者として設計の現場に5年係わっていた 第一種電気工事士			